病児・病後児保育園 こあら通信 たっち！

2026年 11月 No.68
発行者 病児・病後児保育園こあら
住 所 各務原市蘇原東島町 4-6-2



日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じます。

暖房器具を使う機会が増えて空気が乾燥しやすくなる時期です。加湿や換気を心がけながら、風邪などの病気にならないようしっかりと体調を整え、丈夫な体づくりをしていきたいですね。

インフルエンザと診断されたら……

インフルエンザは、症状が重くなりやすく、体力を消耗します。回復するまでしっかり休むことが大切です。
登園再開には、①と②の両方を満たしていることが必要です。
また、登園前に、かかりつけのお医者さんに、登園できるまで回復しているか確認をお願いします。

① 発症した後 5日経過していること

② 熱が下がってから3日経過していること（熱が下がった翌日から数えて3日）





パターン1 熱がすぐ下がった場合
発症の翌日に熱が下がった場合、発症から5日経過するまで休みましょう。

パターン2 3日後に熱が下がった場合
発症から5日後、たとえ熱が下がっていたとしても、解熱した翌日から数えてまだ2日目なので、もう1日お休みしましょう。

今月は“きのこ”や“はりねずみ”など秋らしい製作遊びを楽しみたいと思います。どんなかわいい作品ができるのか楽しみです♪







インフルエンザワクチンについて

東海中央病院小児科　上野　たまき

現在、こどもに接種できるインフルエンザワクチンは２種類あり、１つは従来型の**注射の不活化ワクチン**で、13 歳未満のこどもには２回接種が必要ですが、生後６ヶ月以上のこどもから接種でき、注射の成分に対するアレルギーがなければ、妊婦も含め、概ね誰でも接種が可能です。

もう１つは、**鼻の中に噴霧する、生ワクチン**です。こちらは、注射ではないので痛みもなく、有効期間も注射の 5~6 ヶ月と比べて１年と長く、こどもでも１回のみの投与です。ただし、弱めたウイルスを投与するので、対象者に制限があります。

対象は２歳から 19 歳未満で、妊婦や免疫の弱い人、喘息のある人、他にも持病によって接種することができない人がいます。また、極めてリスクは低いものの、極微量の弱毒ウイルスが排出されるため、同居の家族に、免疫が重度に低下している人や、妊婦や赤ちゃんがいる場合には、念のために、注射の不活化ワクチンを選択する場合もあります。

生ワクチン接種後１割くらいの人に、インフルエンザ様の症状がみられることもあり、副作用なのか、別の感染症なのか判断が必要な場合もあります。

両者の違いを理解して選択し、流行が拡大する前に接種をおわらせましょう。





病児保育園 こあら

時　間　平日　８：００～１８：００（再診の場合）
利 用 料　2,000円（多子世帯児補助金制度あり）
登録方法　毎年度更新です　市役所での登録をお願いします

対象年齢　各務原市内または県内の協定を結んだ市町村に住所がある小学６年生までの児童
（市町村によってお預かりの年齢が異なることがありますのでお問い合わせください）

ご不明な点などございましたら、電話にてお問合わせください。（14 時～17 時）

☎０５８－３２２－３５６７